

患者の皆様へ

2023年8月31日

泌尿器科

現在、泌尿器科では、「泌尿器科救急患者の臨床データ登録研究」に関する研究を行っています。この研究は介入を伴わない多施設共同後ろ向き研究です。今後の治療に役立てることを目的に、2006年4月1日から2029年5月31日に当院で泌尿器科の救急対応必要と診断された方の診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

泌尿器救急患者（尿閉、急性陰嚢症、嵌頓包茎など）の臨床データ登録研究

2. 研究の意義・目的

本研究は異なる泌尿器救急患者に対する最適な治療法の選択を終点とする「個別化医療」を目指し、治療結果の向上と再発の低減を目的としています。臨床データを通じて、泌尿器救急患者の治療法の選択及び予後予測をどのように行うかを比較分析し、本研究を通じて、泌尿器救急患者の予後を決定する異なる要素を解明できれば、治療効果を高めることが期待できるだけでなく、既存の臨床治療方法に対して科学的で規範的な比較評価を行うことが期待できます。

本研究の目的は、患者背景と各疾患の特徴と治療について本邦における現状を把握することです。

3. 研究の方法

泌尿器救急疾患に関する診断・治療に関する臨床的因子を探索するために、診療を受けた患者の既往臨床資料を用いて、データの比較と解析を行います。具体的には、臨床カルテから得られたデータを用いて、統計学的方法により各種疾患の診断・治療状況を比較分析します。

臨床研究実施期間：2023年9月1日 ～ 2029年5月31日

4. 研究費用負担のないこと

この研究に係る費用は、あなたが負担することはありません。ただし、一般診療に係る

費用は、通常通り自己負担分をお支払い頂きます。尚、研究にご協力して頂いたことに対する金銭を含めた報酬はありません。

5. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報の取り扱いについては、共同研究機関において氏名等を削除して特定の個人が容易に識別できないように加工し、研究用 ID を付与します。研究用 ID と氏名を一致させるための対応表は、各機関ごとに作成し、それぞれの研究機関内で保管され、機関外には持ち出されません。また、研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉県済生会習志野病院泌尿器科の鍵のかかる保管庫で保管します。

6. 外部への資料・情報の提供

氏名等の特定の個人を識別できる符号を削除されたデータは解析されます。

データベース（DDBJ [DNA または RNA に登録された核酸データベース]、NCBI [国立バイオエンジニアリング情報センター] など）にデータを提供し、研究者間で共有することができます。

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省・経済産業省による「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

<相談窓口>

研究代表機関：千葉県済生会習志野病院泌尿器科
研究代表者：藤村 正亮

<当施設の相談窓口>

施設名：千葉県済生会習志野病院泌尿器科
担当者：藤村 正亮（医長）
連絡先：047-473-1281